めざせ！南十字星

笑顔があふれ，しあわせを感じられる学校

学 校 便 り
令和６年 ７月最終号
ヨハネスブルグ日本人学校

令和７年度１学期が終わります。始業式で元気に会いましょう！

初秋の季節に始まった１学期も、子どもたちの笑顔とともに無事に終えることができました。新しい学年、新しい仲間、新しい学びに胸を躍らせていた４月が、つい昨日のことのように思い出されます。

この１学期、子どもたちは日々の授業やふれあいウィーク、野外学習活動などの学校行事、そして２回にわたる国際交流活動を通して、大きく成長しました。異なる文化や価値観に触れ、自分の言葉で思いを伝えようとする姿には、たくましさと未来への可能性を感じました。教室の中だけでは得られない、かけがえのない経験が、子どもたちの心にしっかりと刻まれたことと思います。

また、日々の学校生活が安全で充実したものとなったのは、子どもたち自身の努力はもちろんのこと、保護者の皆様の温かいご理解とご協力、そして地域の皆様の支えがあってこそです。特に、PTA の皆様には行事運営や環境整備など多方面にわたりご尽力いただき、心より感謝申し上げます。

さらに、運営委員会、日本人会の皆様には、学校の活動全体を力強く支えていただきました。皆様のご支援が、子どもたちの学びと成長の土台となっていることを、改めて実感しております。

これから迎える冬休みが、子どもたちにとって心と体を休めるとともに、新たな挑戦や発見のある時間となることを願っております。２学期、木々の鮮やかな新緑が始まる頃、また元気な笑顔で再会できる日を楽しみにしています。

以下、１学期、終業式にて、子どもたちに話した講話の内容です、お時間おありの際、ご一読くださいますようお願いいたします。

皆さん、おはようございます。今日で１学期が終わります。４月に新しい学年が始まってから、皆さんは本当によく頑張ってきました。教室での学び、運動場での汗、友だちとの笑顔、時には友だちとぶつかることもあったかもしれません。そのすべてが、皆さんを一回りも二回りも大きく成長させてくれました。

私は、１学期、皆さんの姿からたくさんの感動をもらいました。難しい課題にもあきらめずに取り組む姿、友だちを思いやる優しい言葉、そして何より、毎日を大切に過ごそうとする皆さんのまなざしが、私の心に深く残っています。

特に印象的だったのは、２回にわたる国際交流の活動です。言葉や文化の違いを越えて、皆さんは相手の心に寄り添い、自分の思いを伝えようと努力しました。最初は緊張していた人も、最後には笑顔で手を振り合っていましたね。あの瞬間、皆さんの中に「世界とつながる力」が確かに育っていることを感じました。

国際交流は、ただ外国の人と話すことではありません。相手を理解しようとする気持ち、自分の文化を大切にする心、そして違いを楽しむ柔軟さ。それらすべてが、これからの時代を生きる皆さんにとって、かけがえのない力になります。皆さんがその第一歩を、しっかりと踏み出したことを、私は心から誇りに思います。

１学期 PTA カレー給食の１コマ

さて、明日からは冬休みです。家族と過ごす時間、自分の好きなことに打ち込む時間、そして心と体をゆっくり休める時間を大切にしてください。

安全に気を付けて、健康に過ごしてください。